

日本医療マネジメント学会 第10回奈良支部学術集会  
平成27年1月31日 なら100年会館

## 特別講演

# やってるよ、地域包括ケア！

三浦市立病院  
総病院長 小澤幸弘

# 本日のメニュー

- 1、プロフィール
- 2、三浦市立病院の医療崩壊
- 3、神奈川県でのメディカルコントロール体制
- 4、医療：地域完結型診療体制の確立
- 5、保健：地域における予防医療基盤の構築
- 6、福祉：地域包括ケア体制の確立
- 7、地域で医師を育てる

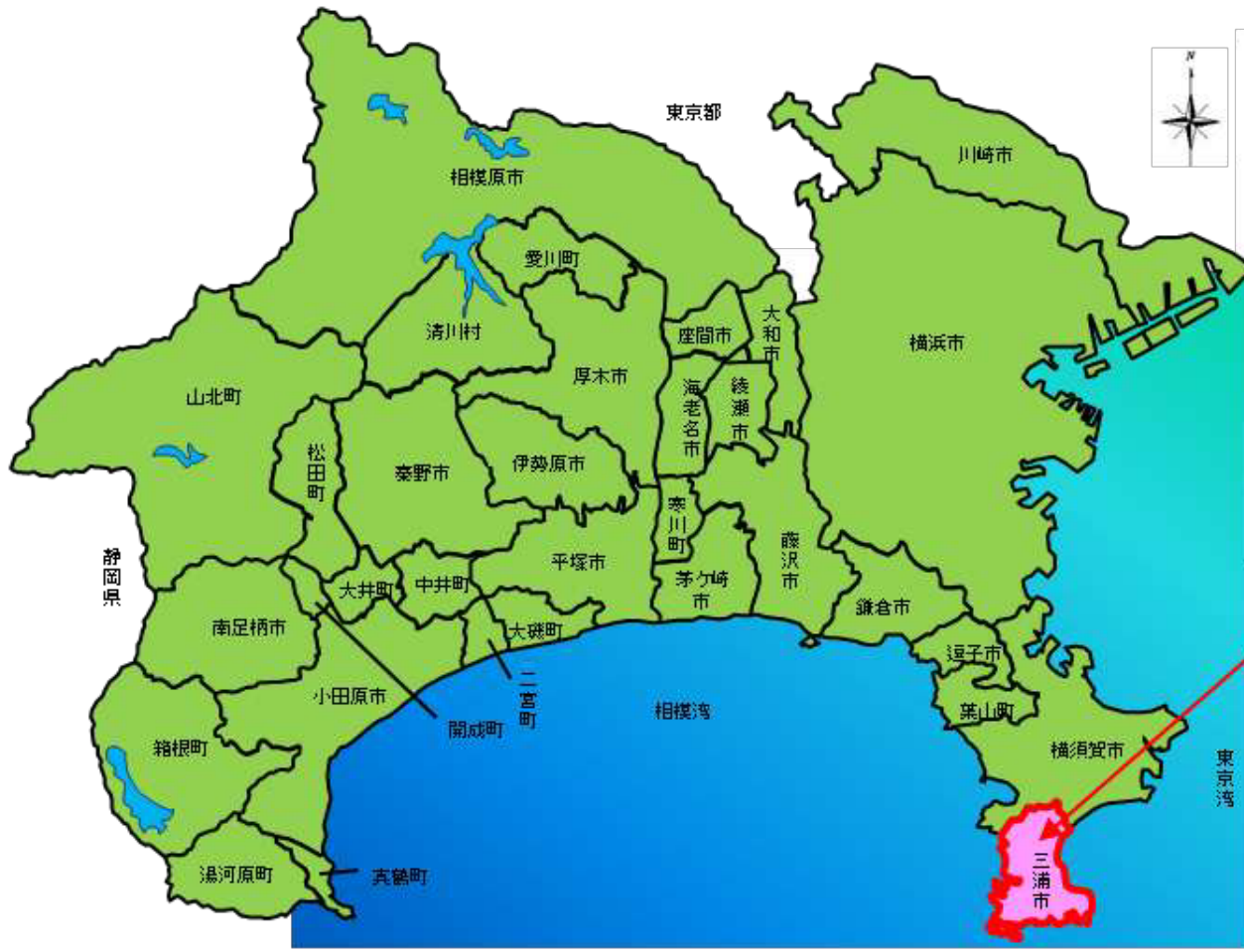
# 1、プロフィール



# プロフィール

- 昭和56年 新潟大学医学部卒業  
横浜市立大学医学部初期研修
- 昭和58年 横浜市立大学医学部第1外科入局(外科)  
横浜南共済病院、癌研究会付属病院、平塚共済病院、  
社保相模野病院、平塚共済病院、  
神奈川県立がんセンター(食道がん)
- 平成 3年 横浜市立大学第1外科助手
- 平成 6年 横浜市立大学救命救急センター講師(救急医学)
- 平成 8年 三浦市立病院 外科医長
- 平成10年 診療部長
- 平成15年 副院長
- 平成19年 病院長
- 平成22年 総病院長(病院長兼病院事業管理者)

# 神奈川県三浦市



# 三浦市立病院 沿革

昭和27年 「三崎町国民健康保険直営病院」開設  
東京大学物療内科中心、医師5名  
地域医療をささえるため



昭和63年 「三浦市立病院」  
横浜市立大学関連施設、医師15名（最多23名）  
急性期病院めざす



平成16年 「三浦市立病院」新病院建設

平成19年 「三浦市立病院」医療崩壊  
院長が転出し、内科・整形外科が撤退、医師13名（最少11名）  
「三浦ならではの」地域医療の確立をめざす（保健・医療・福祉の一体化）

## 2、三浦市立病院の医療崩壊



# 突然、病院長が転出

平成19年3月

大学教授の命令で

突然、病院長が神奈川県内の公立病院に転出



三浦市立病院の医療崩壊が始まる

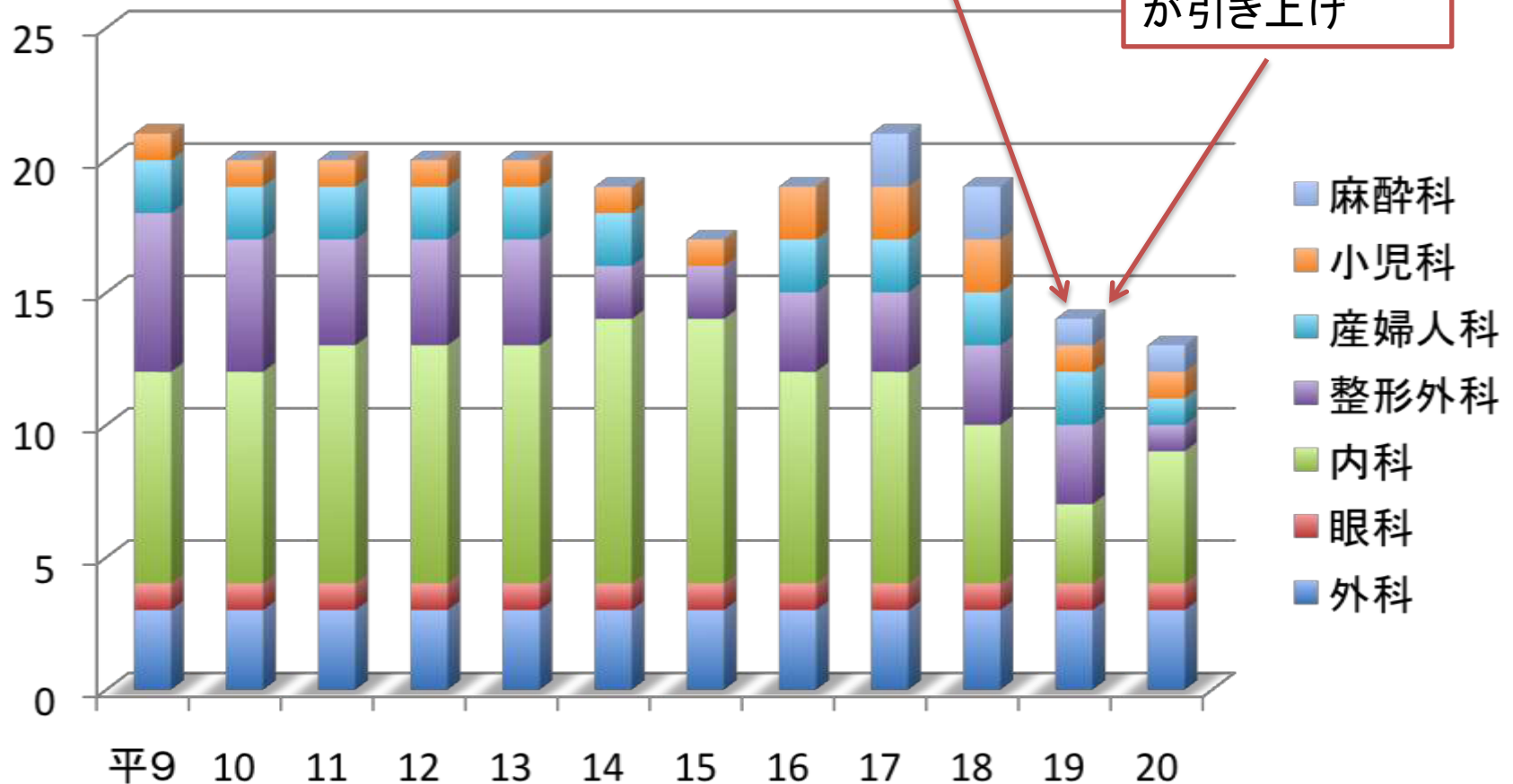


# 医療崩壊

## 大学医局からの医師撤退

小児科の入院中止  
時間外救急対応中止  
産科の中止

大学医局  
内科・整形外科  
が引き上げ



平成19年4月

そして

病院長になる

# 医師確保

大学医局からの医師派遣の見通しが立たない

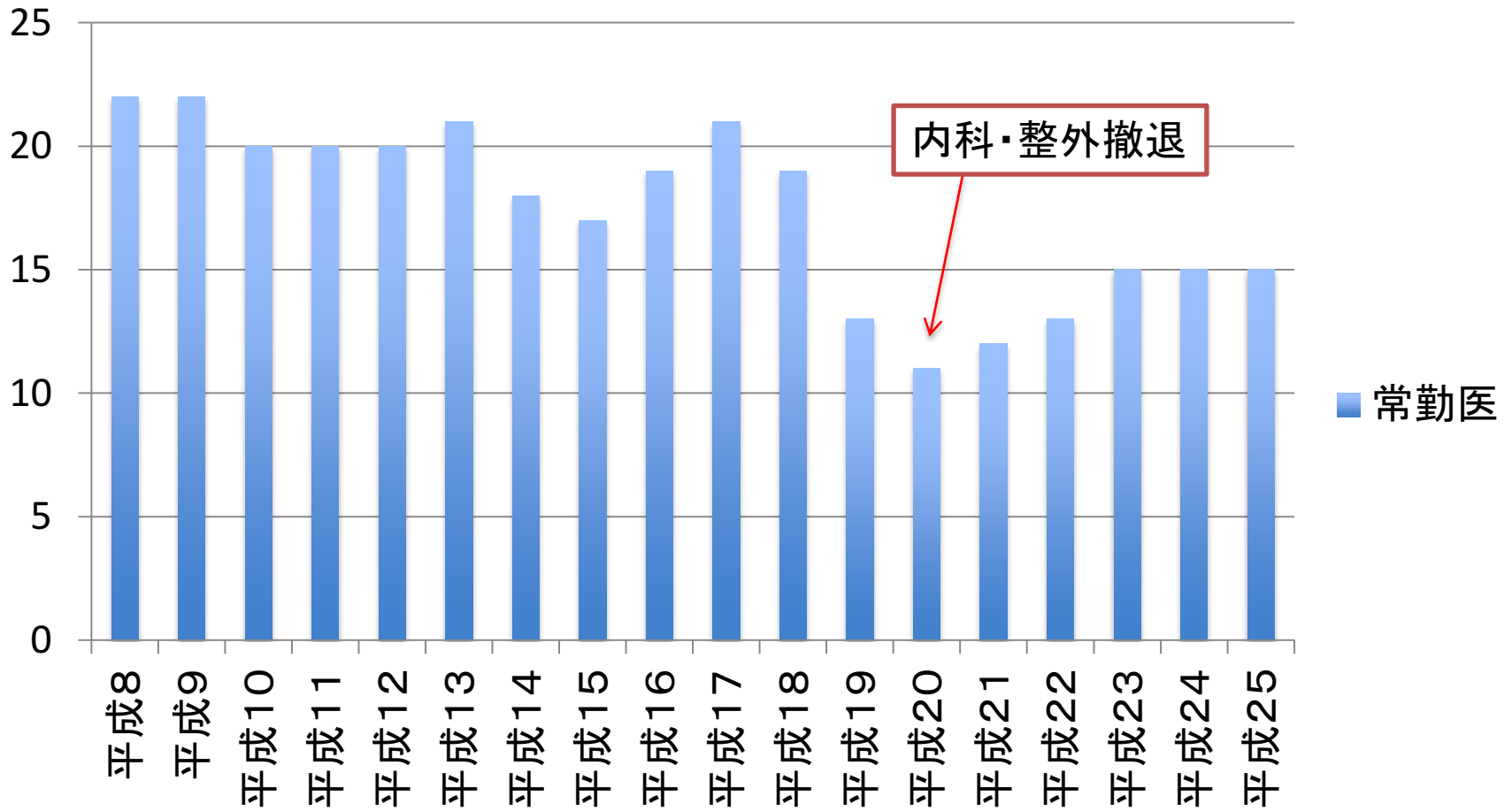


独自の医師確保の道をとらざるを得ない



三浦にとって必要な医師、地域医療を本当にやりたい医師をさがす絶好の機会

# 常勤医師数



### 3、神奈川県でのメディカルコントロール体制



# 神奈川県メディカルコントロール協議会

大学の救命救急センター  
を頂点とする  
“トップダウン型”



二次病院の連携で  
築き上げる  
“ボトムアップ型”

川崎市

聖マリアナ医科大学

県北・県央地区

北里大学

横浜市

横浜市立大学

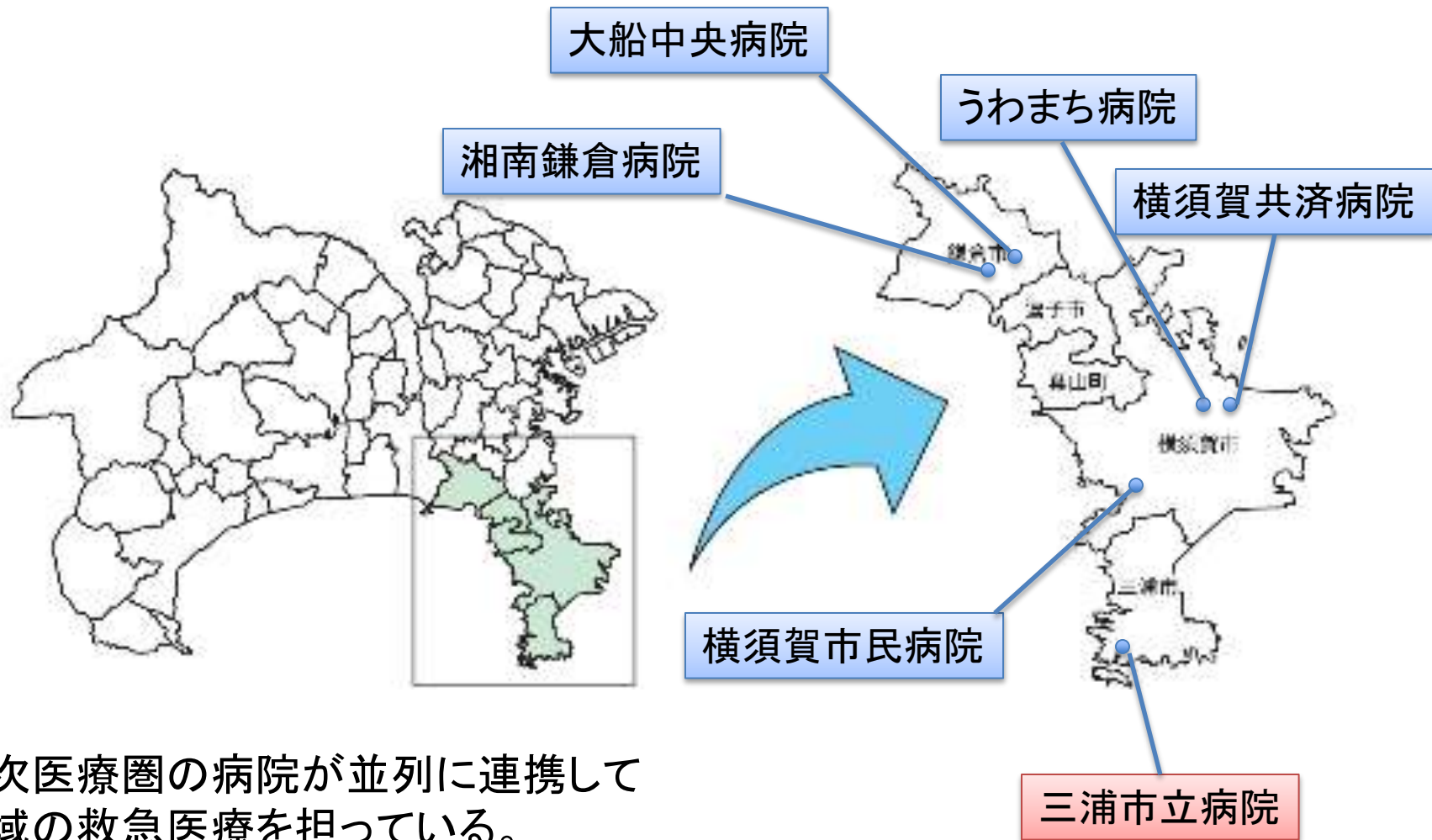
湘南地区

東海大学

三浦半島地区

三浦市立病院

# 三浦半島地区メディカルコントロール



二次医療圏の病院が並列に連携して地域の救急医療を担っている。

「持つべき機能」と「持たざる機能」  
を明確にする



「持たざる機能」は  
地域連携で確保する

経済性の追求だけでは  
三浦市に必要な  
病院は維持できない

三浦市に必要な医療を  
追求してこそ  
病院は維持できる

# 「三浦ならではの」の地域医療

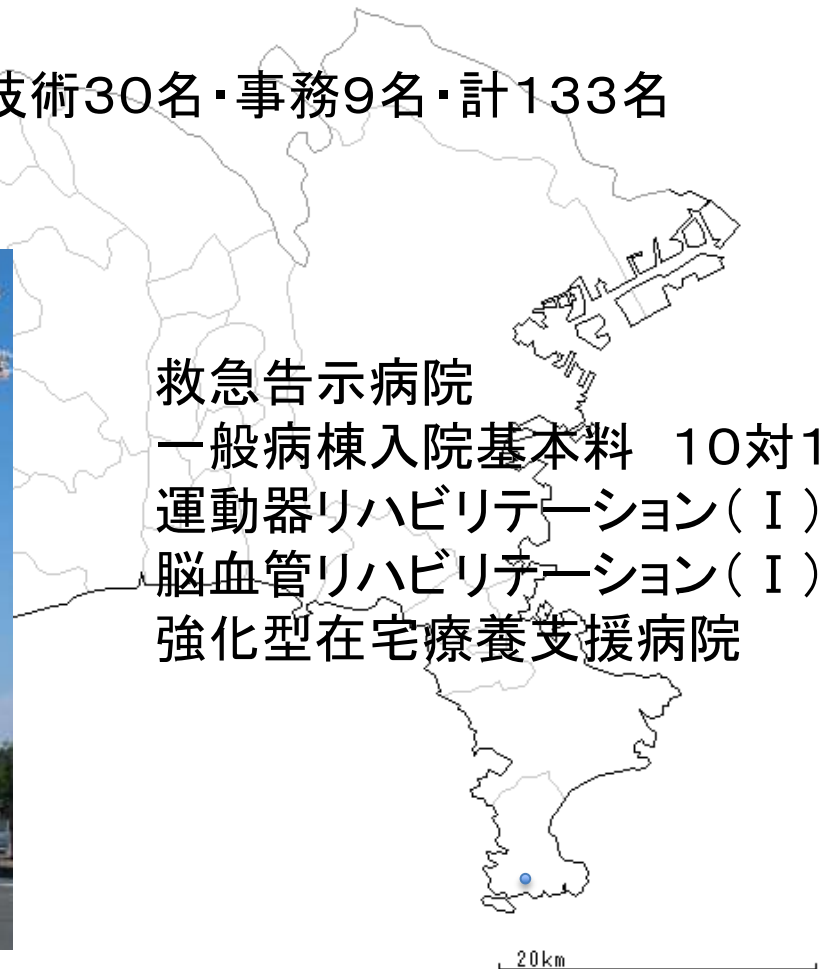
- 救急24時間365日応需医療体制を堅持し、急性期病院としての質を確保する。
- 行政、診療所と一体化して健康診断を促進し、三浦市民の健康増進をはかる。
- 多くの介護老人施設と密接な連携を構築する。



地域での保健、医療、福祉の一体化

# 三浦市立病院

診療科 内科・神経内科・外科・整形外科・産婦人科・小児科・眼科・耳鼻咽喉科・  
リハビリテーション科・麻酔科・脳神経外科・泌尿器科・皮膚科  
病床数 136床(地域包括ケア24床)  
職員数 医師14名・看護師80名・医療技術30名・事務9名・計133名



救急告示病院  
一般病棟入院基本料 10対1  
運動器リハビリテーション(I)  
脳血管リハビリテーション(I)  
強化型在宅療養支援病院

## 4、医療：地域完結型診療体制の確立



# 病院存続のための戦略

平成21年4月

## 1、経済性の視点から

- トータルSPD
- DPC
- 地方公営企業法全部適用(給与の適正化)

## 2、医療の質の視点から

- DPC
- アンチエイジングプロジェクト
- トリプルP
- **地域中核病院との診療連携**

# ドクターヘリによる連携

平成17年より



新病院建設の翌年に  
病院前ロータリーに  
ヘリポート増設

東海大学救命救急センター

横浜市大市民総合医療センター

5分

15分

三浦市立病院

20km





# 地域中核病院との連携

平成19年より

横浜市立大学附属病院

神経内科  
小児科  
耳鼻咽喉科  
麻酔科

横須賀市立うわまち病院



循環器内科



横須賀共済病院



横須賀市立市民病院

循環器内科



循環器内科  
脳神経外科  
耳鼻咽喉科  
皮膚科  
麻酔科

20km

# 地域からの診療支援連携

	共済	市民	うわまち	横浜市大	県立循呼	その他
循環器	2	2	1			2
呼吸器					1	2
消化器						1
糖尿病						1
神経内科				4		
小児科				2		
脳外科	2					
耳鼻科	2			2		
泌尿器科	2					
皮膚科	2					
麻酔科	2			2		

1コマ半日として、主に午後に専門外来を開設してもらっている。

# 循環器外来

	月	火	水	木	金
横須賀共済		2			
うわまち			1		
横須賀市民					2
その他				2	

①地域中核病院の窓口として

②急性期治療後の身近な通院の場として

# 脳神経外来

	月	火	水	木	金
横浜市大 神経内科	1	1		1	1
横須賀共済 脳神経外科			1		1

脳卒中の診断や後遺症のフォローに常勤医も  
助かっている

## 5、保健：地域における予防医療基盤の構築



# 病院存続のための戦略

平成21年4月

## 1、経済性の視点から

- トータルSPD
- DPC
- 地方公営企業法全部適用(給与の適正化)

## 2、医療の質の視点から

- DPC
- アンチエイジングプロジェクト
- トリプルP
- 地域中核病院との診療連携

# アンチエイジングプロジェクト

Anti-ageing Project

特定健診にJMS健康管理システム採用



臨床検査室を三浦市の中央ラボ化



行政・病院・診療所の一体化した医療活動



バイキューブによる三浦市の医療のネット化

# アンチエイジングプロジェクト

Anti-ageing Project

- 遠隔画像診断の確立
- 個人データ(検査、画像)医療機関での共有
- 個人データ(検査、画像)経時的管理
- 地域の健康増進、公衆衛生への活用



『健康都市三浦』



# 診療所からの検体検査受託

平成20年9月より

特定健診をきっかけに市内診療所より  
検体検査の受託の了解を得た。

そして、一般診療の検体検査も受託した。

# 画像の遠隔読影

平成23年2月より

慶応大学放射線科による  
CT・MRI画像の遠隔読影開始

# 地域における糖尿病疾病管理

平成24年4月より

- 糖尿病外来に治療効果不良群を集約する
- 一般外来、診療所では治療効果良好群をフォローする
- インスリン計算機を導入し教育入院を当院で自立させる
- 同様に周術期にも導入し、院内でインスリン投与法を統一する

# 地域における糖尿病疾病管理

三浦市立病院

糖尿病専門外来(非常勤医)

(木)午前



糖尿病教育入院

三浦市立病院

一般外来(常勤医)

( )午前

( )午前

市内診療所 開業医

( )全日

( )全日



## 6、福祉：地域包括ケア体制の確立



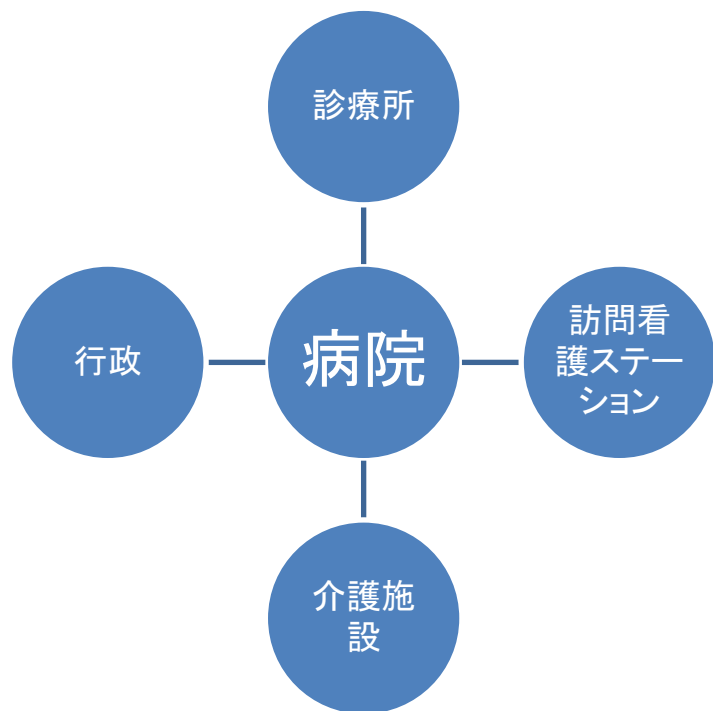
# 地域における医療連携のかたち

都 市 型

地 方 型

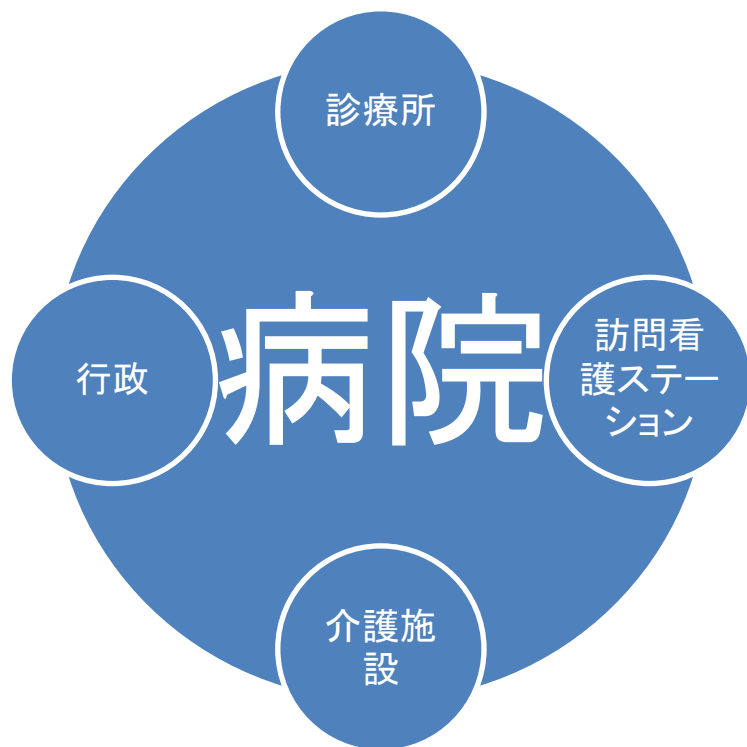
地 域 密 着 型

# 都市型



- 病院、診療所、訪問看護ステーション、介護施設、行政が独立して役割を果たしている。
- 各々の連携で成り立っている。

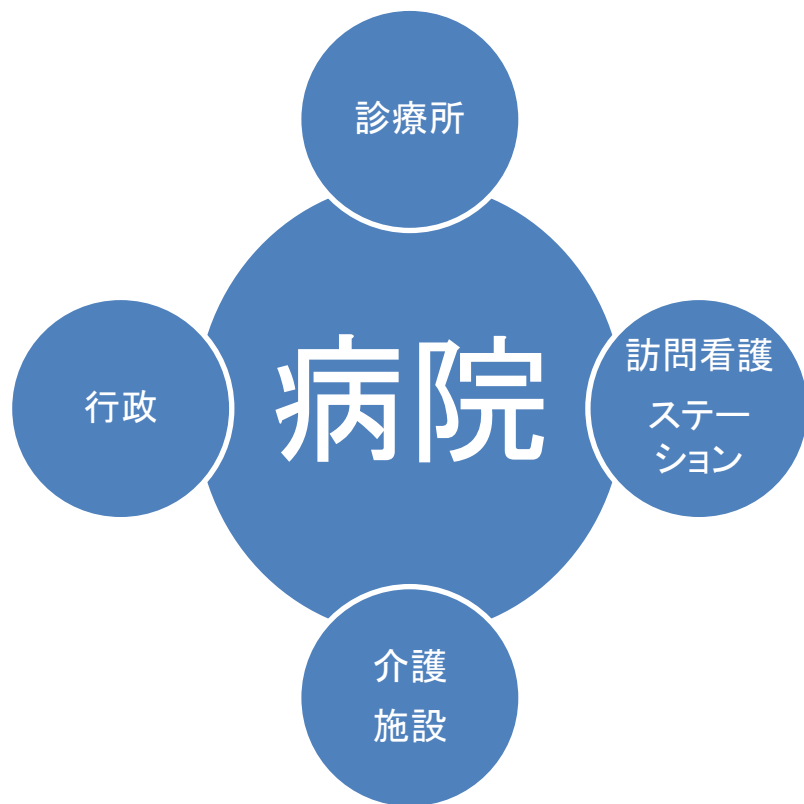
# 地方型



- 地方では、訪問看護ステーションや介護施設が独立して経営を成り立たせるのは難しく、診療所も少ない。
- 行政の管轄下に病院を中心としたケアミックス施設を作って対応せざるを得ない。



# 地域密着型



- 都市部に隣接した地方にあっては、訪問看護ステーションや介護施設は民営により多く存在する。
- しかし、各々の経営基盤、医療基盤は厳しい。
- 病院は、院外へ一歩踏み出すことにより各々の組織と協働して一体となった体制を築く。

# 「三浦ならではの」の地域医療の確立

保健・医療・福祉を地域で一体化していくことをめざす



- ・ **地域密着型**の連携体制を構築する。
- ・ 病院より一歩外に出ることにより他の機関との協働をすすめ、連携を強化する。
- ・ 院内の体制を強化する。

# 三浦市立病院 地域医療科

社会福祉士2名、事務員1名、看護師3名(1名兼任)、医師3名(兼任)

平成22年  
3月まで

「医療相談室」が相談業務や退院支援、地域医療連携業務を担当

平成22年  
4月

「地域医療科」に名称変更

訪問診療開始(平成26年2月までに334名の訪問診療)

5月

在宅療養支援病院に登録

平成23年  
12月

医療保険での訪問看護実施

(市内4カ所の訪問看護ステーションと24時間連携)

平成24年  
4月

強化型在宅療養支援病院に登録

平成25年  
2月

医療保険での訪問リハビリ

5月

介護保険での訪問リハビリを開始

# 院外における連携

- 診療所からの検体検査業務委託
- 画像の遠隔読影
- 24時間在宅医療体制(在宅療養支援病院)
- 退院から切れ目のない訪問看護と訪問看護ステーションへの引き継ぎ
- 介護施設での「看取りケア」の可能性と連携の強化

# 院内の診療体制

## 一般病床3病棟の診療区分

2階病棟(42床) 外科系急性期

3階病棟(47床) 内科系急性期

4階病棟(47床) 亜急性・慢性期

地域医療科は在宅診療を行っているが、今後4階病棟と協働し退院直後の訪問看護を展開し既存の訪問看護ステーションにつなげる。

地域で急性期から回復期そして在宅へと  
切れ目のない療養環境を構築する

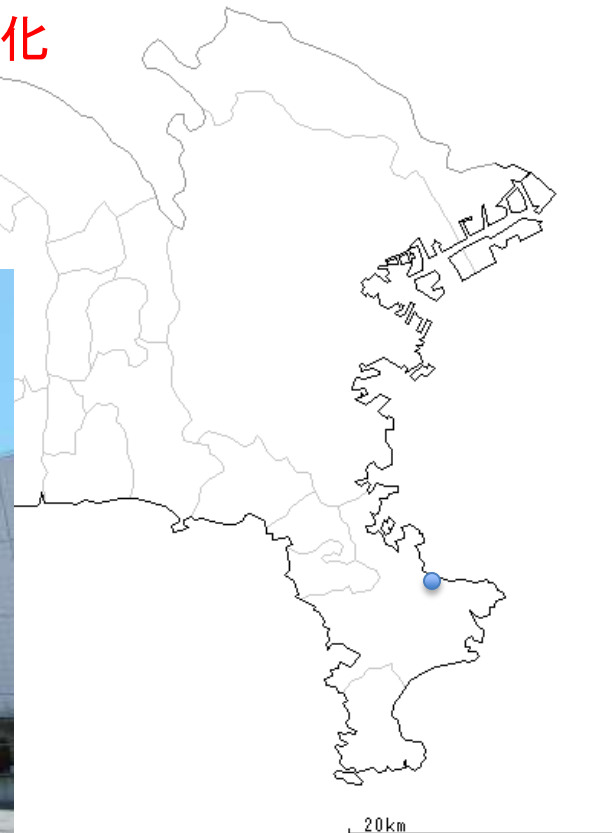
課題①リハビリテーションの充実  
②介護との機能的な連携

# 神奈川県立保健福祉大学

看護学科・栄養学科・社会福祉学科・リハビリテーション学科

## 「ヒューマンサービスの実現」

- ① **保健・医療・福祉の連携と総合化**
- ② 生涯にわたる継続教育の実現
- ③ 地域社会への貢献



# リハビリテーションの拡充

平成24・25年

県立保健福祉大学を中心にOT3名、PT12名体制に



長い間、PT3名体制





# 院内における体制強化

- 救急体制の進化を止めない
- 2階は三浦市立病院の外科系急性期病床らしく
- 3階は三浦市立病院の内科系急性期病床らしく
- 4階は地域医療科、リハビリテーション科と協働して三浦市の亜急性期病床らしく



すなわち、4階のベットは47床のみにあらず。  
退院後の在宅のベットもふくむ。

# 第62回神奈川県国保診療施設部会

平成24年5月26日



神奈川県5病院6診療所  
三浦市立病院主催

シンポジウムテーマ

「高齢化社会における  
地域連携の構築に向けて」

# 「三浦ならではの」の高齢者医療・介護連携 の確立のための調査研究

「三浦ならではの」の  
高齢者医療・介護連携  
の確立のための調査研究  
平成24年度  
事業報告書



三浦市立病院  
平成25年2月

「三浦ならではの」の  
高齢者医療・介護連携の  
確立のための調査研究  
(在宅医療連携拠点づくり事業)  
平成25年度  
事業報告書



平成26年3月  
三浦市



# 「三浦ならではの」の高齢者医療・介護連携 の確立のための調査研究

平成24年度

「三浦ならではの」の  
高齢者医療・介護連携  
の確立のための調査研究  
平成24年度  
事業報告書



三浦市立病院  
平成25年2月

- 対象
  - 市内診療所
  - 訪問看護ステーション
  - 特別養護老人ホーム
- テーマ
  - 「地域の医療機関全体で支える  
24時間在宅医療体制の構築」
  - 「医療と介護の連携」

「三浦ならではの」の調査研究事業と実際の取り組みを継続していく

平成24年

調査研究の結果を紹介し、

在宅ターミナルケアを取り巻く問題と地域連携上の課題、今後の展望について述べる

平成25年9月30日発行

地域医療

ISSN 0289-9752  
平成25年9月30日発行

# 地域医療

Vol.51  
No.2

## ◆特集 在宅ターミナルケアの課題と展望

さくらクリニック院長 桜井 隆 / 北江島町健康保険所長 東條環樹 / 志村町国民健康保険所長 中村伸一  
三浦市立病院地域医療科科長 兒玉 末 / 船橋院長 小澤幸弘 / 鎌倉中央病院在宅診療部長 高木宏明

■「国語版 海外保健・医療・介護・福祉視察研修レポート」 巻頭語 徳川町国民健康保険院長 大原昌樹  
■「現場研究会レポート」 長野南 佐久市立国民健康総合病院技術部長兼歯科口腔外科医長 奥山秀樹

■連載  
インタビュー ● 厚生労働省老健局副局長 朝川知昭  
エッセイ ● 地域包括ケアはなぜ必要なのか / 厚生労働省政策統括官（社会保障担当） 唐澤 剛  
市町村長からのメッセージ ● 地域包括ケア——豊後大野市の状況から / 大分県 豊後大野市長 橋本祐輔  
フロント・オピニオン ● 社会制度改革国民会議報告書をどう受け止めるか？ / 国語版副会長 押淵 徹  
診療所新時代—いまこそ診療所の時代！ ● 和歌山県 古座川町国民健康保険所長 森田裕司  
国民健康保険 新時代への挑戦 ● 山梨県 湯沢町早川町一宮事務組合立国民健康院長 朝比奈利明  
国民健康の看護現場から ● 千葉県 国民健康総合病院中央病院看護部長 齊藤みち子 / 皮膚 併診ケア認定看護師 今野日登美  
訪問看護認定看護師 杉原幸子 / 感染症認定看護師 堀井俊男 / ひん生体看護認定看護師 尾形良子  
地域包括医療・ケア推進のカギは地域連携にあり ● 有明 国語版国語版地域医療推進員 藤森嘉代子 / 編集長 向角直子 / 編集 三嶋弘道  
介護予防・健康づくりに挑戦！ ● 大分県 杵島村健康推進員 小島希実  
地域における包括的口腔ケア活動 ● 愛媛県 国語版中央市新富歯科診療所歯科医師 森 秀樹



全国国民健康保険診療施設協議会  
JAPAN NATIONAL HEALTH INSURANCE CLINICS AND HOSPITALS ASSOCIATION

# 高齢者の医療と介護の連携にかかる提言・提案

## 「できることから取り組む姿勢」

- 退院前カンファレンス(担当者会議)の方法の変更と拡充
- 公開講座の開始

施設各位

## 三浦市立病院 平成25年度 公開講座のご案内

平成25年度の勉強会を下記の内容・日程で開催いたします。各講座、基礎から実践活用まで3～4回シリーズでの開催を予定しています。  
多くの方のご参加をお待ちしております。

### ☆感染対策講座

- 第1回 5月21日(火) 手洗いと手指消毒
- 第2回 7月16日(火) 疥癬について
- 第3回 9月24日(火) ノロウイルスについて
- 第4回 11月5日(火) インフルエンザについて

### ☆褥瘡対策講座

- 第1回 6月14日(金) 褥瘡発生の原因・予防について
- 第2回 9月20日(金) 褥瘡処置について
- 第3回 12月10日(火) ポジショニングについて

### ☆緩和ケア講座

- 第1回 7月8日(月) 緩和ケア～良き死に向けて～
- 第2回 11月8日(金) エンゼルケアについて
- 第3回 2月12日(水) 地域の中の看取り

### ☆リハビリテーション講座

- 第1回 5～6月頃 移乗動作の介助方法
- 第2回 9～10月頃 転倒予防
- 第3回 1～2月頃 リハビリテーションサマリーのあり方(仮)

#### ※申し込み方法

講座開催日の1か月前に内容等の詳細をメールにてご連絡いたします。  
締切りまでに、メールにて申し込みをお願いします。

## 平成25年度より 公開講座を開始する

### 対象

(メーリングリスト作成し広報)  
訪問看護ステーション  
特養、老健、グループホーム等  
クリニック、診療所  
行政、保健福祉事務所など

### テーマ

- ①感染対策講座
- ②褥瘡対策講座
- ③緩和ケア講座
- ④リハビリテーション講座

# 公開講座 「リハビリテーション講座」

平成25年7月3日

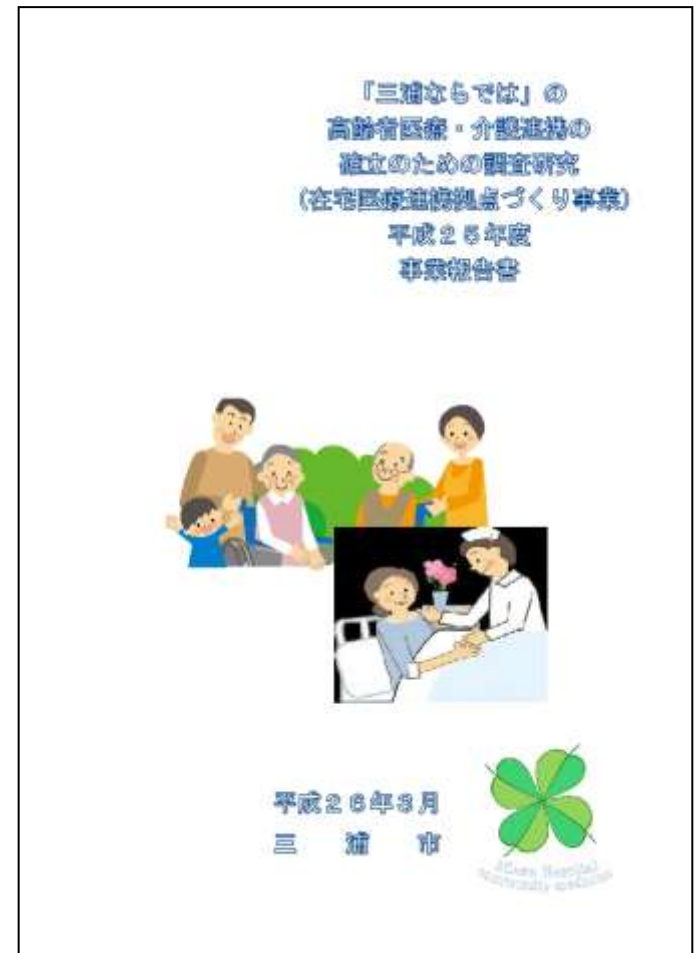




# 「三浦ならではの」の高齢者医療・介護連携 の確立のための調査研究

平成25年度

- 対象  
ケアマネージャー  
高齢者向け入居型介護施設
- テーマ  
「在宅看取り」  
幸せな最期を迎えるために  
必要な医療と介護の連携の課題



# シンポジウム 在宅看取りを考える

平成26年3月15日

## 在宅看取りを考える



病院で最期を迎えますか？

在宅で最期を迎えますか？

みなさん一緒に考えましょう！！

日 時：平成26年3月15日（土）14:00～16:00

場 所：三浦市民ホール（うらり2F）

主催：三浦市

共催：三浦市医師会・神奈川県三崎保健福祉事務所

主管：三浦市立病院

その他：入場無料（お気軽にお越しください！）

## < プログラム >

- 1 開 会 14:00～14:05
- 2 主催者あいさつ 14:05～14:15  
三浦市長 吉田 英 男  
三浦市医師会副会長 矢 島 真 文
- 3 基調講演 14:15～15:00  
テーマ：「在宅看取りを考える」  
講 師：児 玉 末（こだま こずえ）
- 4 休 憩 15:00～15:10
- 5 パネルディスカッション 15:10～15:55  
テーマ：「在宅看取りと医療・介護連携」  
コーディネーター：小澤幸弘（三浦市立病院副院長）  
パネラー：徳山 （三浦市医師会・徳山診療所院長）  
青木芳隆（三浦市ケアマネ連絡会会長）  
草間理子（せいらい介護看護ステーション会館所長）  
井上政江（特別養護老人ホームはまゆう施設長）  
児玉 末（三浦市立病院内科医師・地域医療担当部長）
- 6 閉 会あいさつ 15:55～16:00  
神奈川県三崎保健福祉事務所長 ハツ 橋 良 三

## < 基調講演講師プロフィール >

平成22年4月1日、三浦市立病院開院。同日、市立病院に地域医療科が設置し、以来、担当部長として診療、内科医師として院内で出向診療をしながら、70名余りの在宅の患者さんを訪問診療し、24時間体制で支えている。市立病院開院以来、訪問診療患者数は300人を超え、在宅で看取った方は、70名を超えている。（H24.1.1現在）



【本人からひとこと】

三浦の人々のあたたかさや、在宅医療・介護に関わる方々の厚い思いに支えられて、ここまでやってきました。

関係者は顔の見える関係にあり、協力体制も強固で、全国に誇る連携の輪が、三浦にはあると思っています。

「在宅看取り」の質を通じて、高齢者と、高齢者を支える地域社会、人生の最期をどう迎えるかなどについて、考えていきたいと思っています。

# シンポジウム 在宅看取りを考える

平成26年3月15日



# シンポジウム 在宅看取りを考える

平成26年3月15日



# シンポジウム 在宅療養を考える集い

平成27年3月7日

**在宅療養を考える集い**  
「在宅看取りを考えるシンポジウム」(昨年3月開催)に続く  
～みんなで考える～ パートⅡ



幸せな最期を迎えるために・・・  
みんなで見守る地域社会が必要です！！  
「在宅療養を考える集い」は、そのために不可欠な  
「おせっかいのすすめ」です！！  
みなさん一緒に考えましょう！！

日時：平成27年3月7日(土) 14:00～16:00  
場所：三浦市民ホール(うらり2F)  
主催：三浦市  
共催：三浦市医師会・神奈川県鎌倉保健福祉事務所三崎センター  
主管：三浦市立病院  
その他：入場無料(先着400名様)  
お気軽にお越しください！

< プ ロ グ ラ ム >

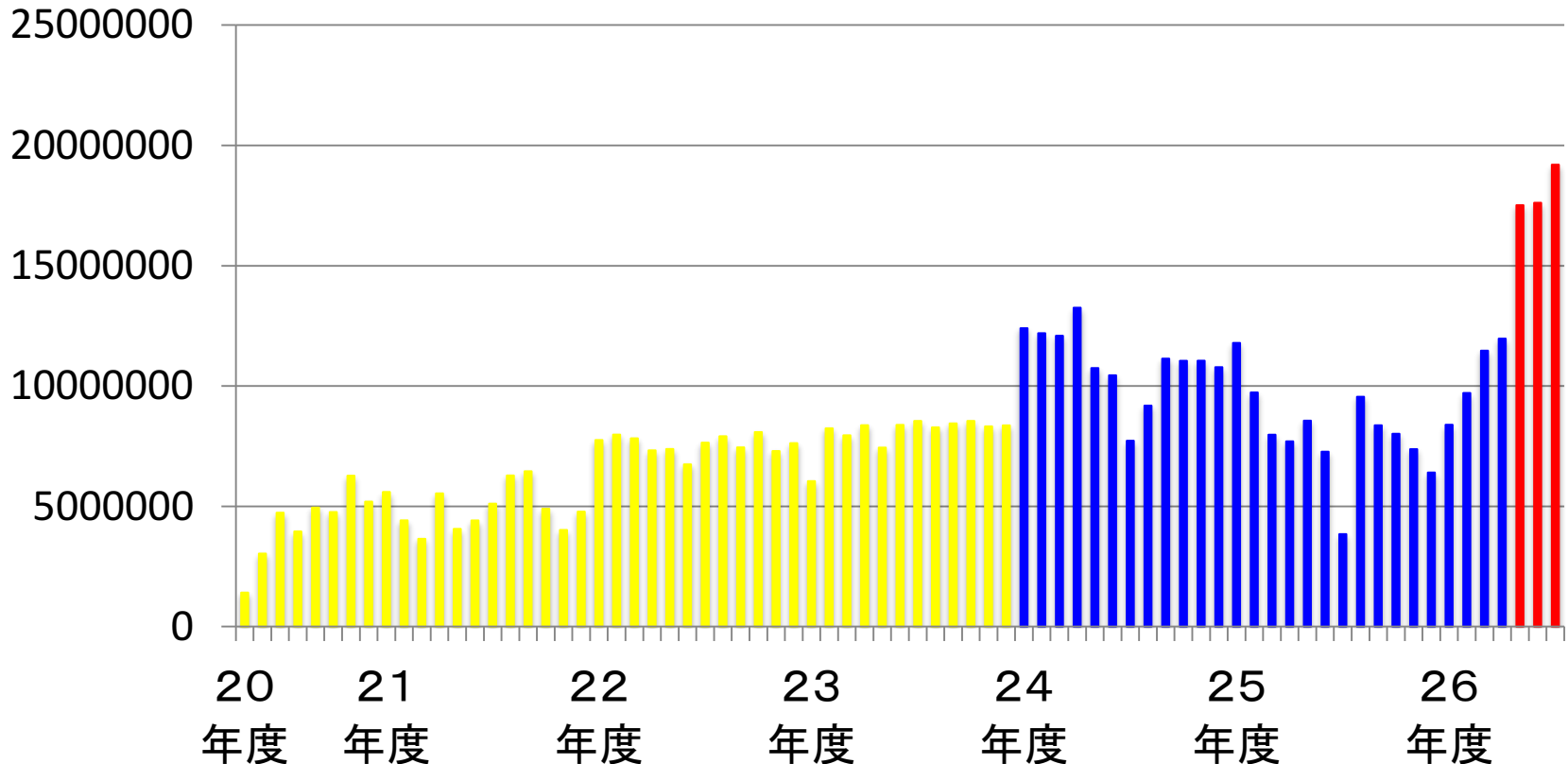
1 開 会	14:00～
14:05	
2 主催者あいさつ	14:05～
14:15	
三浦市長 吉田英男	
三浦市医師会副会長 矢島真文	
3 リレー講演	14:15～
15:05	
テーマ：在宅看取りを考える ～「おせっかい」のすすめ～	
講 師：三浦市立病院 地域医療科担当医長 児玉 実	
三浦市立病院 地域医療科社会福祉士 安 藤麻由美	
三浦市社会福祉協議会 地域包括支援センター職員 福 島 友美	
介護支援オフィス三浦 管理者・主任介護支援専門員 吉本 ゆりえ	
三浦市保健福祉部高齢介護課GL 薄 口 大輔	
4 休 憩	15:05～
15:15	
5 パネルディスカッション	15:15～
15:55	
テーマ：「在宅看取りと医療・介護連携」	
コーディネーター：永井智子(神奈川県鎌倉保健福祉事務所二崎センター所長)	
パネラー：児谷 月美(三浦市民生委員・児童委員連絡協議会会長)	
熊谷 栄男(三浦市老人クラブ連合会会長)	
高橋 栄子(訪問介護ロード 管理運営サービス課所長)	
児玉 実(三浦市立病院 内科医師、地域医療科担当医長)	
安藤麻由美(三浦市立病院 地域医療科社会福祉士)	
福島 友美(三浦市社会福祉協議会 地域包括支援センター職員)	
吉本ゆりえ(介護支援オフィス三浦 管理者・主任介護支援専門員)	
薄口 大輔(三浦市保健福祉部高齢介護課GL)	
6 閉 会	15:55～
16:00	
三浦市立病院 総病院長 小 薄 幸 弘	

平成26年度診療報酬改定

「地域包括ケア病棟」新設

# 経営改善効果

収益(円/月)

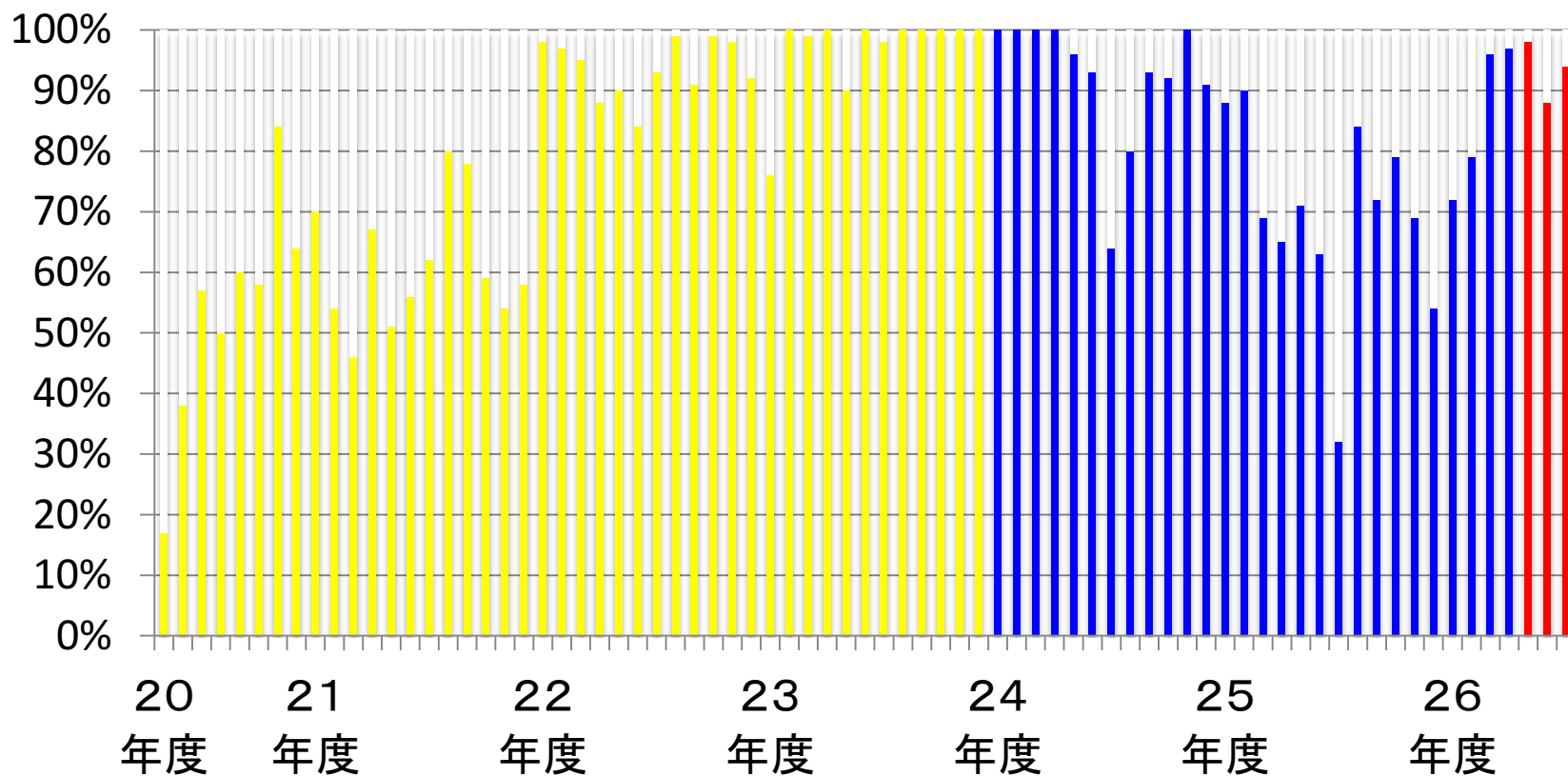


- ・平成20年8月に亜急性期病床13床でスタートした。
- ・平成24年4月から新たな基準の亜急性期病床に再編し20床に増床した。
- ・平成26年9月から地域包括ケア病床24床に変更した。

# 経営改善効果

— 亜急性期13床    — 20床    — 地域包括ケア24床

占床率(%)

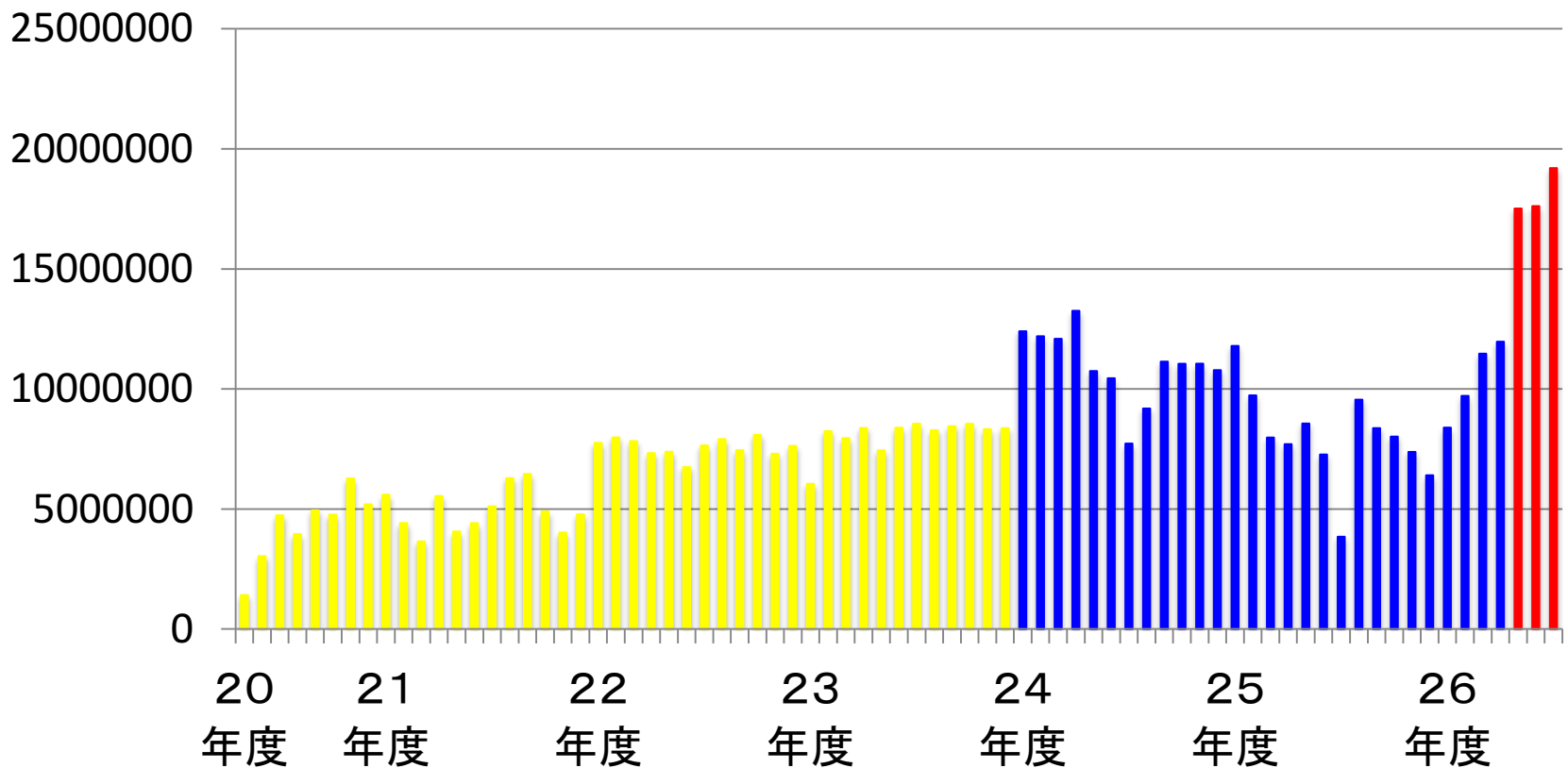




# 経営改善効果

— 亜急性期13床    — 20床    — 地域包括ケア24床

収益(円/月)

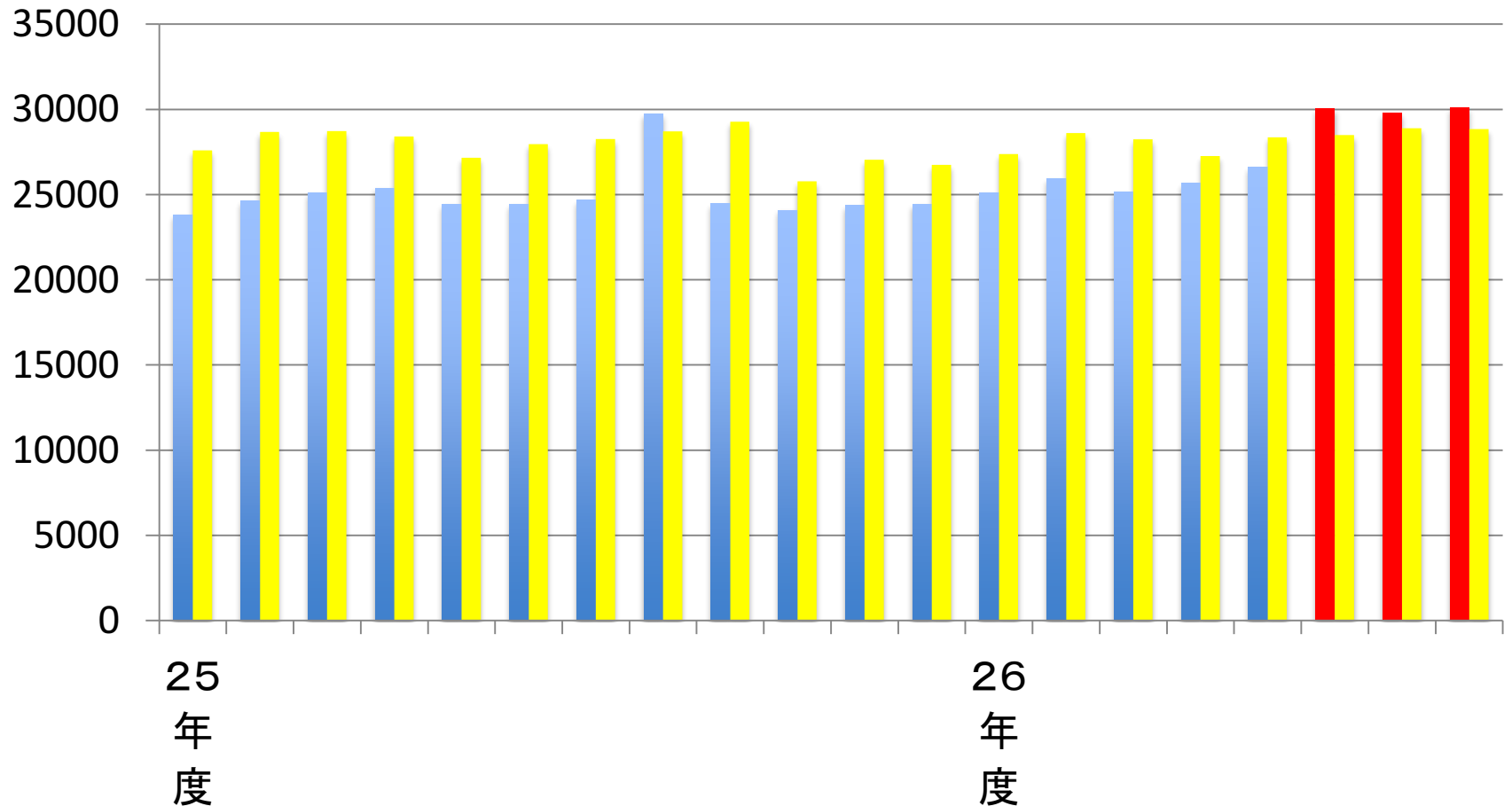


## 亜急性期病床と地域包括ケア病床

# 内科入院単価

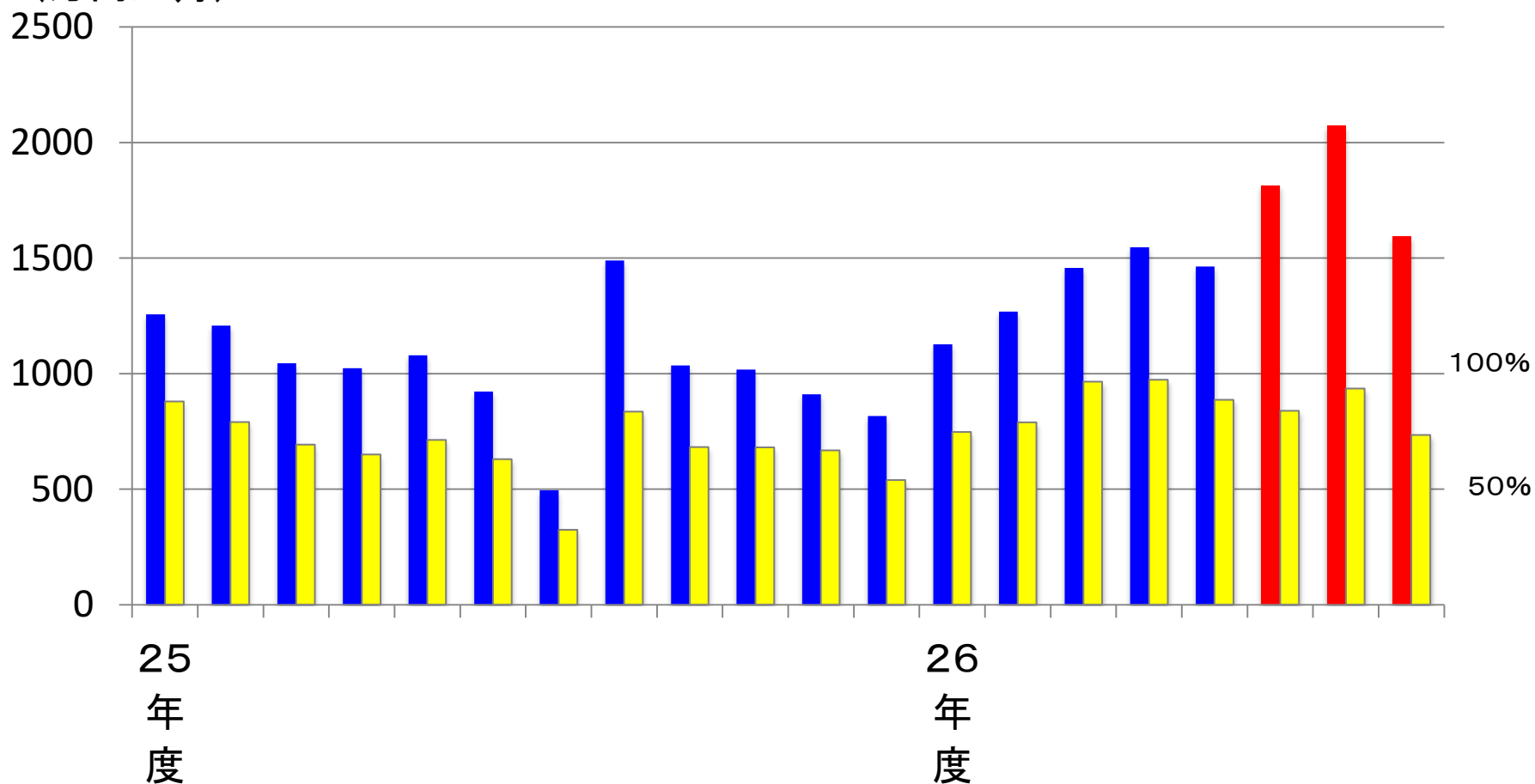
リハ2単位は必須となったが包括点数が引き上げられたことにより、内科全体の入院単価を凌駕する状況となった。

(円)



# 亜急性期病床と地域包括ケア病床 占床率

占床率に連動して収益の変動がみられる。占床率アップが重要な要素となる。  
(万円/月)



# 地域中核病院との連携

地域中核病院

大学病院

横浜市立大学附属

横須賀市民



うわまち病院



横須賀共済



地域包括ケア設置  
地域密着型病院

衣笠病院



聖ヨゼフ



三浦市立



20km



# 四病院連絡会議

平成26年8月18日

横須賀共済病院＋衣笠・ヨゼフ・三浦市立病院

地域包括ケアの促進  
病院機能分化の促進  
地域完結型医療の構築

# 三浦半島地区で 四病院連携を目的として シンポジウムを企画

## —地域中核病院—

横須賀共済病院(735床)

## —地域包括ケア病床設置—

三浦市立病院(136床)

衣笠病院(251床)

聖ヨゼフ病院(146床)



### ☆テーマ☆

### 「地域包括ケアシステムと機能分化・連携の推進」

開会あいさつ 横須賀共済病院 病院長 長堀 薫

司会 横須賀共済病院 診療部長兼地域連携センター長  
豊田 茂雄 先生

演者 衣笠病院 病院長  
鈴木 博 先生

三浦市立病院 内科担当医長兼地域医療科担当医長  
兒玉 末 先生

聖ヨゼフ病院 地域包括ケアセンター長  
今岡 靖浩 先生

場所:横須賀共済病院 外来棟5階講堂

日時:平成26年 **10月16日** (木)18:00~

対象:横須賀共済病院職員及び連携医療機関

主催/横須賀共済病院(地域連携センター)  
共催/横須賀共済病院 学術図書チーム・看護部



平成27年1月1日

**「四病院地域連携運営要項」  
施行**

# 三浦市立病院のIT化

平成26年1月13日

電子カルテシステム本稼働



平成26年度内

タブレット端末導入

訪問診療、訪問看護、訪問リハ及び退院前訪問などで  
電子カルテの参照、書込みを行なう



# 7、地域で医師を育てる



# 地域医療研修の研修医受け入れ

横浜市立大学



平成19年より受け入れ  
1-2ヶ月間  
3-5名／年

横須賀共済病院



平成24年より受け入れ  
1-3週間  
16名／年

20km

# 地域医療研修

平成19年4月より

地域で医師を育てる体制を構築する第1歩となる。

将来この研修医の中から当院に就職する人材が育つことをめざす。

# 自治医科大学

平成24年夏より

初めて学生(5年生)の院外実習受入れ

# 最後に

神奈川県では、まだ設置されていない地域医療支援センターを自治医科大学の卒業生と県内4大学地域枠の卒業生を一緒にして、地域包括ケアを担う地域密着型の中小病院に勤務するいわゆる総合医を育てるセンターにしたい。

